



TITLE:

天文同好會：例會記事

AUTHOR(S):

CITATION:

天文同好會：例會記事. 天界 1929, 10(104): 37-37

ISSUE DATE:

1929-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161476>

RIGHT:

比較星			
a	8.09	m	11.64
b	9.61	n	11.76
d	9.40	o	12.24
e	9.96	p	12.40
f	10.86	q	12.51
g	10.61	r	12.62
h	10.91	s	12.68
k	11.14	t	12.82
l	11.85	(H.A. 57)	

上の星の近くにあるのでついでに圖を入れた。
比較星の光度は別表の通り、分光型が N_3 であるのが珍しい。併し光が淡いから色は眼に付かぬ。

天文同好會

例會記事

九月例會 豫告の通り去る九月二十二日夕七時から催された。近頃の例會には多く樂友會館を利用したが、近頃天文學教室南館階上の講義室第33號に適當な設備が出来たので、試に此處に開いた。

會する者約五十名で、山本先生の「偉人ハイゲンスの話」を承つた。

今年はハイゲンスの誕生三百年に當つて和蘭では色々な紀念の催ある時我々もかの偉人に就いて聞くのは大いに有意義であつた。(講演要旨は別頁記載)『三百年前の幼稚な科學を今日顧るのは、功利的な考からは一向無意味の様に思へるが、科學の歴史を知り、それ等の人々の言行から重大な暗示を得ると言ふ點から甚だ重要である』と言ふ前置の下に、偉人ハイゲンスの生立ち、學業、望遠鏡の改良、土星の環に關する發見、時計の研究、測微器の製作、バリー在職中の事績等を詳しく述べられ、彼が第一流の科學者なりし事を結論せられた。

終つて、有志者で茶話會を開いた。大阪其他から色々問題を持つて來られた方があり、暫くそれ等について語り、九時半散會した。